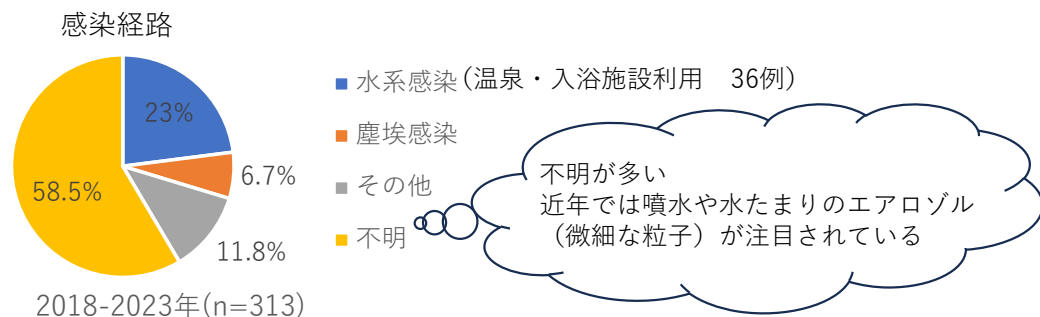


環境中に存在するレジオネラ属菌の分布状況調査と患者由来株との比較解析について (継続課題)

実施機関：保健環境研究所保健科学部
調査研究期間：令和6年度～令和8年度

レジオネラ属菌とは

土壌や河川などの自然界に存在している菌だが、入浴施設や冷却塔からも検出されることがあり、レジオネラ症を引き起こす。

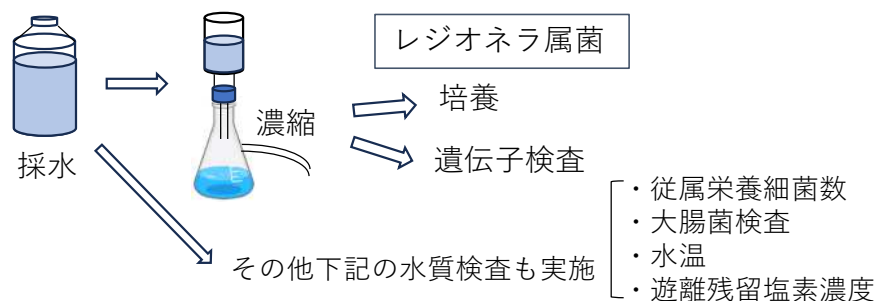


<目的>

岐阜県において浴槽水以外の環境水に生息するレジオネラ属菌の分布について明らかにするため、噴水等の修景水や水たまりからのレジオネラ属菌の分布状況調査を実施し、レジオネラ症感染源としてのリスクを評価すること。

<方法>

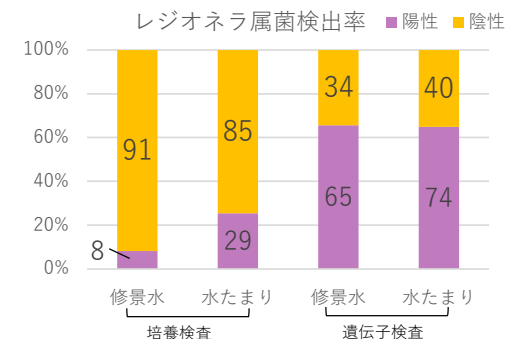
エアロゾルが発生する可能性のある修景水や水たまりを採水しレジオネラ属菌培養と遺伝子検査を実施



<経過報告(令和8年2月末時点)及び今後の方向性>

▶ 実態調査の結果

- 修景水(99検体)
(噴水・水浴場・親水施設等)
検出率：培養 8.1%(8/99)
遺伝子 65.7%(65/99)
- 水たまり(114検体)
(田んぼの水含む)
検出率：培養 25.4%(29/114)
遺伝子 64.9%(74/114)



患者から高頻度に検出されるレジオネラ属菌の菌種・血清群(レジオネラ・ニューモフィラ血清群1)が今回の調査でも検出された。
修景水：2検体(培養陽性8検体中)
水たまり：12検体(培養陽性29検体中)

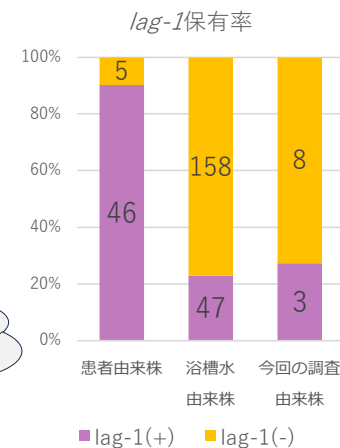
▶ lag-1遺伝子保有率の調査

(レジオネラ・ニューモフィラ血清群1について調査)

- lag-1遺伝子とは…
レジオネラ症の重症化に関与するとされている病原遺伝子

今回の調査由来株のlag-1遺伝子保有率は患者由来株と比較すると低いが、浴槽水由来株と同程度の保有率であった。

修景水や水たまりにもレジオネラ症感染源としてのリスクあり?



▶ 今後の計画

レジオネラ属菌の遺伝子型別による患者由来株と環境由来株との比較